くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 京都市会議員 西野さち子です！

発行：2023年2月12日　連絡先：京都市伏見区新町10丁目３８１ 日本共産党伏見地区委員会 TEL:075(611)9135 FAX:075(602)9117

統一地方選で平和と暮らしの願い実現しよう!!

桃山南・醍醐 新春の集いに170人

1月29日に、新春のつどいが開かれ、ダイゴローホールに多くの皆さんが参加されました。「おおきなうた」の替え歌で始まりましたが、参加された方々から、くらしの願いが出され、共感の大きな拍手がありました。馬場府会議員と西野さち子市会議員の「パワフル対談では、馬場府会議員の3期12年のなかで起こった出来事を中心に、2人の議員がどのように対応し解決してきたのかが語られました。映し出された写真を見ながらの対談は、「分かりやすかった」「あんなに税金のムダ使いを止めてきたとは知らなかった」「絶対に必要な議席です」等の感想が寄せられました。後日にも「みんなのねがいで出された声は自分の願いでもあるので共感した」「決意表明がよかった。頑張ってください」などのメールが寄せられました。

子どもの医療費の拡充、中学校給食実現へ市政を動かす

議会レポート

市民の声が政治を動かしました。これまで何度も請願が出されましたが、そのたびに共産党以外の議員が反対をしてきたものが、世論に押されて動き出しました。一つは子どもの医療費助成の拡充です。京都府が今年の秋から、3歳未満から小学校卒業までの子どもの医療費助成の拡充を公表しました。府の制度に市が上乗せをすれば中学校卒業まで拡充は可能です。

また、中学校給食についても、教育委員会が「調査費を来年度予算に計上することを検討する」と答弁しました。これまで自民党議員からは「何度も請願が出される。時間のムダ」「愛情弁当が必要だ」と小学校のような温かい全員制の中学校給食の実現に背を向けてきましたが、動き出しました。

しかし、調査をしている段階ではありません。他都市では当たり前になっています。全国的には給食費の無償化に動いています。日本共産党文教委員会の藤森毅さんは「子育ては家庭に責任を押し付けるのではなく、社会全体でするもの。収入の多い人は税金を多く払ってもらい、収入基準を設けず、すべての子どもに平等に無償にすることが重要です」と言っておられます。その通りです。なんでも自己責任はおかしいです。

民報 市情

敬老乗車証制度の見直し

10月から敬老バス回数券新設

昨年10月から敬老乗車証の負担金が2倍になりました。この財源の一部を使って、今年の10月から、「敬老バス回数券の新設」と「民営バス敬老乗車証の適用地域の拡大」をするとの事で、案の発表がありました。

敬老乗車証かバス回数券かどちらか一方を選ぶことになります。申請は年一回です。バス回数券は一万円分を5千円で購入するというものです。ただし、バス回数券を選べば地下鉄は実費になりますし、醍醐コミバスの回数券は醍醐コミバスにしか使えませんから、注意が必要です。下の表は市が発表した利用例です。

【ケース３：主に醍醐コミュニティバスを利用。時々、京阪バスを利用する場合

	醍醐コミュニティバス（全区間 210 円）と京阪バス（250 円区間）を利用する場合	
券種	単独券 210 円券×11 枚	共通券 250 円券×11 枚
回数券綴り１冊当たりの金額	2,100 円	2,500 円
交付可能な冊数	3 冊	1 冊
乗車可能回数	年 33 回（月 2～3 回）	年 11 回（月 0～1 回）
利用者負担	4,400 円	

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前１０時から午後５時
まずはお電話ください!!
☎621−6717

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ
しんぶん赤旗
日　刊●月 3497円
日曜版●月 930円